

# 保育のヒント~「科学する心」を育てる~

## 時間の経過と栽培物の生長が結び付く学び/さいたま市立尾間木保育園

栽培物への興味を深める子どもたちは、様々な気付きを楽しみながら学びを深めていきます。その子どもたちの姿を保育者がよく観ることで、気付きや学びを捉えている事例をご紹介します。子どもたちの言葉から、ジャンボヒマワリの栽培を通して、グングン生長するヒマワリだからこそ味わうことのできた感動や発見する喜びが伝わってきます。



# ヒマワリの葉っぱ/5歳児

種まきをし、日々生長していくヒマワリに関わる子どもたちは、自然物に対する興味・関心を深めた。 発見や気付きは自然の科学へのはじめの一歩として、どのように子どもたちの心に刻まれていくのか見取るために、ここでは「ヒマワリの葉っぱ」に関する子どもの言葉に焦点を当てた。(論文抜粋)

子どもたちは植物の栽培を通じ、いろいろなことを発見し、工夫し、植物を育てる楽しさや難しさを体験している。そのような子どもたちから放たれる言葉の数々に、私たち保育者は改めて子どもの純粋な感性に感動することもしばしばあり、子どもが抱く「なぜ?」「どうして?」に寄り添い、丁寧に向き合う努力を重ねてきた。今年度は、子どもも大人も、太陽に向かって咲く大輪のヒマワリのように笑顔あふれる保育園にしたいと考え、ジャンボヒマワリを育てる計画をした。土づくり、種まき、間引き、追肥など、様々な工程一つ一つを、子どもたちと楽しみながら進めた。

### ●保育の工夫

- 1. 大きく育つということを「隣の家よりも大きなヒマワリになる」と子どもたちに伝え、「面白そう」「育てる!」と、子どもたちの興味や意欲を引き出して、ヒマワリ栽培を始める。
- 2. 種まきの前に、土作りや雑草取りなどをしながら、イメージを膨らませたりヒマワリについて考えたりできるように関わる。
- 3. 日当りや土の栄養の状況などの違う3か所で育てる。(いろいろな場所で生長するヒマワリの育ち方やその違いに気付き、よく観察する姿を引き出せるのではないかと予想した)

## ♣ 発芽 6月上旬(種まきより21日後)

「わあー! 芽が出てる!」 「葉っぱが増えたね…1.2.3.4…」 「4つもあるよ!」 「うわ!また増えてる!7つ?」 「また大きくなってるよ!お水いっぱいあげてるからじゃない?」 「あ…雑草はえてる!抜かなきゃ…!」



♣ 「こっちのヒマワリは大きいけど、あっちのは小さいね」

最初はあまり大きな差がなかったヒマワリが生長し、高さにかなり差が出てきていたことに 気付く。

Aちゃん「こっちのヒマワリは大きいけど、あっちのは小さいね」

Bちゃん「ほんとだ」

Aちゃん「なんでだろう…」

Bちゃん「お水あげてないからじゃない?」

Aちゃん「でもいつもあげてるよ」

Bちゃん「うーん…あ!日陰だからじゃない?」

Aちゃん「…そうか!こっちは日陰なんだ!」

Bちゃん「あっちは太陽が出てるよ」

#### 子どもの気付きと学び

- 毎日同じように水をあげていても、日当たりによってヒマワリの育ちが異なる。
- 日当たりについては、日陰より日なたの方が大きく育つ。



# ♣ 「葉っぱの傘みたいだね」

ある日のヒマワリの雑草抜きの最中、突然雨が降ってきた。保育者や虫探しをしている子どもたちは雨が降ってきたことに気付くが、雑草抜きをしている子どもたちはそれに気付かない。

Aちゃん「先生ー!雨降ってきたよ」

Bちゃん「え?降ってないよ?」 Bちゃんは上を見上げる。

Aちゃん「葉っぱで隠れてて見えないー」保育者とAちゃんは葉っぱの下に隠れる。

Aちゃん「葉っぱの傘みたいだね」

Bちゃん「本当だー!葉っぱの傘だ!大きいね」



#### 子どもの気付きと学び

• ヒマワリの葉は、まるで傘のように大きく育ち、空が見えなくなるほど何枚も重なり合うことで、雨をしのぐことができる。

#### ❖ 比べてみよう

ヒマワリの葉が大きく成長した*こと*に 気付く。

「このヒマワリ、葉っぱがすごく大きいよ」

「ヒマワリの葉っぱ、手よりも大きいよ」

「顔も隠れられるんじゃない?」 「こんなに大きかったのか…」



一番大きな葉っぱを付けているヒマワ リを見ながら。

「真ん中のヒマワリの葉っぱが一番大きいよ」

「一番背が高いからじゃない?」 「本当だ!」



「葉っぱってどのくらい大きいの?」 「手が何個入るかな?」 「いっぱい入るよー!」 「見て!葉っぱおばけ!」 「お顔が隠れてるー」



## 子どもの気付きと学び

- 高いところにあるヒマワリは小さく見えるが、実際は花や葉はかなり大きいものである。
- ヒマワリの茎や葉の表面はザラザラとした手触りである。

無断転載を禁ず。引用する場合は右記を必ず明記願います。「(C)公益財団法人 ソニー教育財団 ソニー幼児教育支援プログラム 幼児教育保育実践サイト http://www.sony-ef.or.jp/sef/preschool/ 」